

科目名		授業形態	担当教員名	
身体障害評価学 I		演習・講義	石原 真奈美・嘉納 綾	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 ( 1 単位)		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
筋緊張、骨・関節・筋の視診と触診、関節可動域測定 (ROM)、徒手筋力検査 (MMT) について学ぶ。知識と技術の獲得と両者の統合を目指す。				
授業の到達目標				
1. 筋緊張の評価の意義、目的、方法を説明できる。		5. 筋緊張評価を実施できる。		
2. 骨、関節、筋の視診と触診を行う意義、目的、方法を説明できる。		6. 骨、関節、筋の視診と触診ができる。		
3. ROMを行う意義、目的、方法を説明できる。		7. ROMを正確に測定できる。		
4. MMTを行う意義、目的、方法を説明できる。		8. MMTを正確に測定できる。		
授業計画				
回	内容			
1	筋緊張、骨と関節の視診と触診			
2	関節可動域測定 (ROM)			
3	関節可動域測定 (ROM)			
4	関節可動域測定 (ROM)			
5	関節可動域測定 (ROM)			
6	関節可動域測定 (ROM)			
7	筋の視診と触診			
8	徒手筋力検査 (MMT)			
9	徒手筋力検査 (MMT)			
10	徒手筋力検査 (MMT)			
11	徒手筋力検査 (MMT)			
12	徒手筋力検査 (MMT)			
13	徒手筋力検査 (MMT)			
14	徒手筋力検査 (MMT)			
15	徒手筋力検査 (MMT)			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	35%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	65%	ROM、MMT実技試験で評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版	能登真一 他編		医学書院	
新・徒手筋力検査法 原著第10版	津山直一 他訳		協同医書	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				
予習が講義参加の前提である。KCで参加すること。後期中に、ROM・MMTの実技試験を行う。				